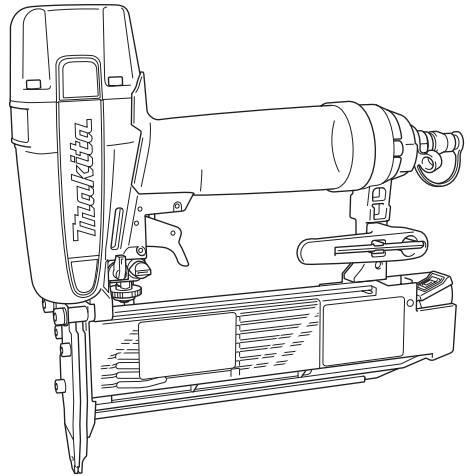


Makita

取扱説明書

仕上釘打

モデル AF502N



このたびは仕上釘打をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

| | |
|----------------------------|----|
| ・ 主要機能 | 3 |
| ・ 安全上のご注意 | 4 |
| ・ 各部の名称および標準付属品 | 8 |
| ・ 別販売品のご紹介 | 9 |
| ・ 使い方 | 11 |
| ・ 安全装置の確認 | 11 |
| ・ トリガロック装置 | 12 |
| ・ コンプレッサの選定について | 12 |
| ・ エアホースの選定について | 13 |
| ・ エアセット（別販売品）について | 13 |
| ・ コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検 | 13 |
| ・ ノーズアダプタについて | 14 |
| ・ 釘の装てんについて | 14 |
| ・ 釘の打ち込み深さの調整について | 16 |
| ・ エアホースの接続 | 16 |
| ・ 打ち込み方法について | 17 |
| ・ 「コンタクト打」の場合 | 17 |
| ・ 「トリガ打」の場合 | 18 |
| ・ 排気の方向について | 19 |
| ・ 釘づまりの直し方 | 19 |
| ・ フックについて | 20 |
| ・ 保守・点検について | 21 |
| ・ 作業後の保管 | 21 |
| ・ 純正オイルの使用 | 21 |
| ・ ご修理の際は | 21 |




主要機能

| 主要機能 | モデル | AF502N |
|---------|-----|---------------------------------------------------|
| 使用空気圧力 | | 0.39 ~ 0.83 MPa (4 ~ 8.5 kgf/cm ²) |
| 使用釘 | | 仕上釘：15 ~ 50 mm 超仕上釘：15 ~ 50 mm |
| 釘装てん数 | | 100本 (1連) |
| 質量 | | 1.2 kg |
| 機体寸法 | | 長さ 247 mm × 高さ 239 mm × 幅 60 mm |
| 使用ホース内径 | | 6.5 mm 以上 |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本製品の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本製品を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用して釘打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じの釘や釘の連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を傷める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ 釘を打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. 釘打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本製品に刻印や溶接などの改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は 0.39 ~ 0.83 MPa (4.0 ~ 8.5 kgf/cm²) の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、本製品損傷による事故の原因になります。
9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりさせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. 近くにいる人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じの釘や釘の連結片などがあたりけがをする原因となります。
13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ 釘が突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口やエアダスタ吹出口を人に向けてたり、手足を射出口やエアダスタ吹出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。

⚠ 警告

18. 次の場合は、トリガをロックしエアホースを本製品からはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - 釘を装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本製品を持って移動する場合。
 - 本製品を使用しない場合。
 - 本製品の調整または点検を行う場合。
 - 釘づまりを直す場合。

19. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

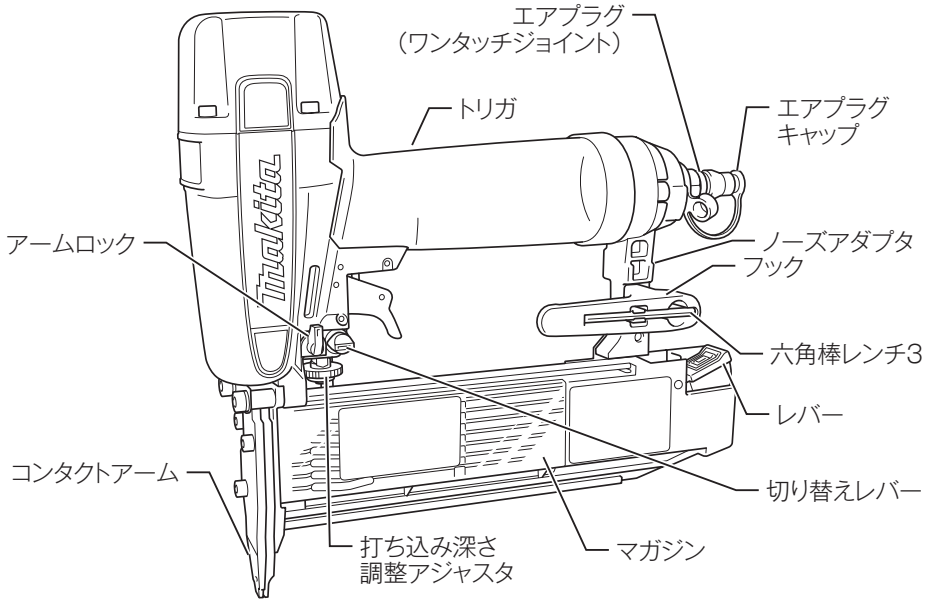
20. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注意

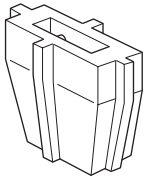
1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかった所での作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本製品を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、釘がはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本製品に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本製品が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本製品の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本製品およびコンプレッサは、空気充てんのまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内および本製品内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本製品の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品

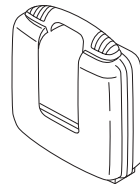


標準付属品

- ・ ノーズアダプタ
部品番号：421444-5



- ・ プラスチックケース
部品番号：182534-6



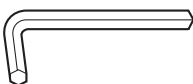
- ・ 油サシ
(タービン油 #90、30 mL 入)
部品番号：421785-9



- ・ セフティゴーグル
(保護メガネ)
部品番号：192517-8



- ・ 六角棒レンチ 3
部品番号：783201-2



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

仕上釘

| 形状 / 種類 | 材質 | 長さ (mm) | 色 | 部品番号 | 梱包本数 | 梱包単位 | | |
|---------|---------|------------|---------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| | | | | | | 中箱 | 大箱 | |
| 仕上釘 | 鉄 | 15 | 茶 | A-15229 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | ベージュ | A-15235 | | | | |
| | | | ダークベージュ | A-15241 | | | | |
| | | 20 | 白 | A-15213 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | 茶 | A-15263 | | | | |
| | | | ベージュ | A-15279 | | | | |
| | | 25 | ダークベージュ | A-15285 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | 白 | A-15257 | | | | |
| | | | 茶 | A-11287 | | | | |
| | | 30 | ベージュ | A-11293 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | ダークベージュ | A-11302 | | | | |
| | | | 白 | A-11318 | | | | |
| | | 35 | 茶 | A-11324 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | ベージュ | A-11330 | | | | |
| | | | ダークベージュ | A-11346 | | | | |
| | | 40 | 白 | A-11352 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | 茶 | A-11368 | | | | |
| | | | ベージュ | A-11374 | | | | |
| | | 45 | ダークベージュ | A-11380 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | 白 | A-11396 | | | | |
| | | | 茶 | A-11405 | | | | |
| | | 50 | ベージュ | A-11411 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | ダークベージュ | A-11427 | | | | |
| | | | 白 | A-11433 | | | | |
| | ステンレス | ステンレス | 25 | 茶 | A-11449 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 |
| | | | | ベージュ | A-11455 | | | |
| | | | 30 | ダークベージュ | A-11461 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 |
| | | | | 白 | A-11477 | | | |
| | | | 35 | 茶 | A-11483 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 |
| | | | | ベージュ | A-11499 | | | |
| 40 | ダークベージュ | A-11508 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | | | |
| | 白 | A-11514 | | | | | | |
| 45 | 無地 | A-12239 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | | | |
| | 無地 | A-12245 | | | | | | |
| 50 | 無地 | A-12251 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | | | |
| | 無地 | A-12267 | | | | | | |
| | | 無地 | A-12273 | | | | | |
| | | 無地 | A-12289 | | | | | |

別販売品のご紹介

超仕上釘

| 形状 / 種類 | 材質 | 長さ (mm) | 色 | 部品番号 | 梱包本数 | 梱包単位 | | |
|---------|-------|------------|---------|---------|---------|------------|-----------|--------|
| | | | | | | 中箱 | 大箱 | |
| 超仕上釘 | 鉄 | 15 | 茶 | A-15300 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | ベージュ | A-15316 | | | | |
| | | | 白 | A-15291 | | | | |
| | | 20 | 茶 | A-15338 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | ベージュ | A-15344 | | | | |
| | | | ダークベージュ | A-15350 | | | | |
| | | 25 | 白 | A-15322 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | 茶 | A-15372 | | | | |
| | | | ベージュ | A-15388 | | | | |
| | | 30 | ダークベージュ | A-15394 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 | |
| | | | 白 | A-15366 | | | | |
| | | | 茶 | A-15419 | | | | |
| | | 35 | ベージュ | A-15425 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | ダークベージュ | A-15431 | | | | |
| | | | 白 | A-15403 | | | | |
| | | 40 | 茶 | A-11520 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | ベージュ | A-11536 | | | | |
| | | | ダークベージュ | A-11542 | | | | |
| | | 45 | 白 | A-11558 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | 茶 | A-11564 | | | | |
| | | | ベージュ | A-11570 | | | | |
| | | 50 | ダークベージュ | A-11586 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 | |
| | | | 白 | A-11592 | | | | |
| | | | 茶 | A-11601 | | | | |
| | ステンレス | ステンレス | 15 | 無地 | A-15481 | 3,000 本 | 小箱 × 10 | 中箱 × 2 |
| | | | 20 | 無地 | A-15497 | | | |
| | | | 25 | 無地 | A-15506 | | | |
| | | | 35 | 無地 | A-12295 | 2,000 本 | 小箱 × 5 | 中箱 × 4 |
| | | | 40 | 無地 | A-12304 | | | |
| | | | 45 | 無地 | A-12310 | | | |
| 50 | | | 無地 | A-15512 | | | | |

・ エアホース 10m
部品番号：A-34506

・ エアホース 20m
部品番号：A-33205

使い方

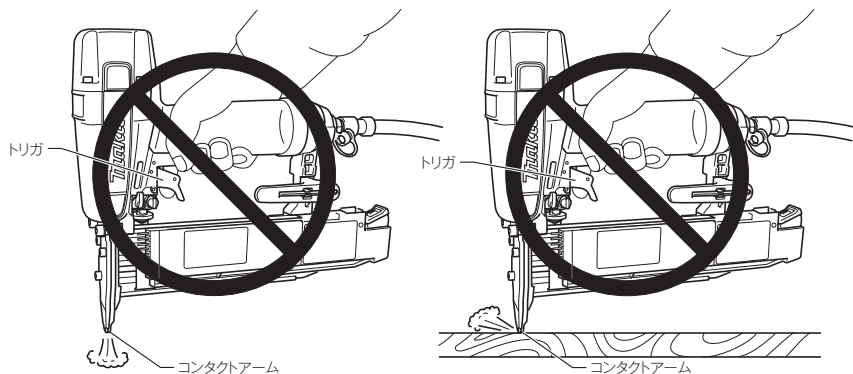
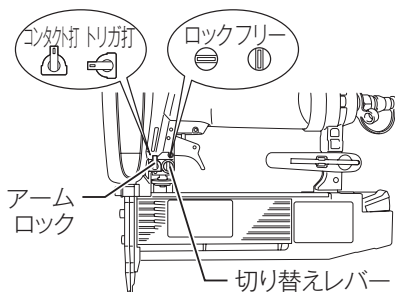
安全装置の確認

⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

・そのまま使用すると事故の原因になります。

- ・ 釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。
1. 作業に入る前に本製品に釘が装てんされていないことを確認してください。
 2. 本製品にエアホースを接続し、アームロックを「コンタクト打」の位置に合わせてください（17 ページ参照）。
 3. 切り替えレバーをフリーにしてください。
 4. マガジンのスライドドアを手前に引いてください。
 5. トリガだけを引いてください。
 6. トリガから指を放しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
 7. 材料からコンタクトアームを離し、トリガを引いたあとコンタクトアームを材料に押し当ててください。
 8. 上記 5 ~ 7 の操作のいずれかで本製品が作動する場合は安全装置が異常です。



使い方

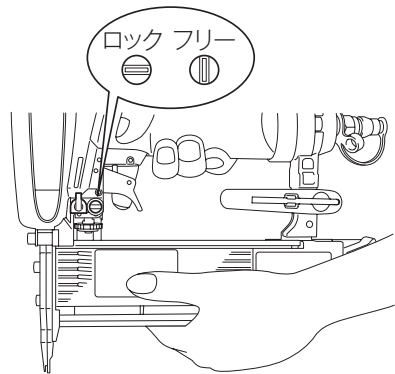
トリガロック装置

⚠ 警告

釘を打つ時以外は、必ず切り替えレバーをロック（固定）しておいてください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

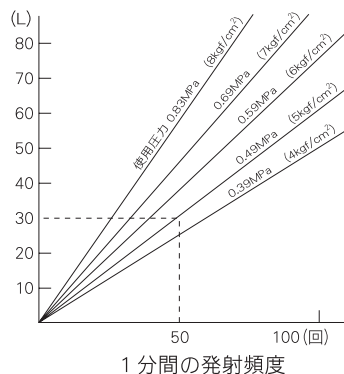
- ・ 本製品はより安全に作業していただくために、トリガロック装置を装備しています。
切り替えレバーをロック（固定）の位置に合わせれば、トリガをロックすることができます。
フリーの位置に合わせれば解除することができます。



コンプレッサの選定について

- ・ 本製品を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。

右図は本製品での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し空気量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 0.49 MPa (5 kgf/cm²) で発射頻度が 1 分間に約 50 回ですと、吐出し空気量 30 L/分以上のコンプレッサが必要です。



使い方

エアホースの選定について

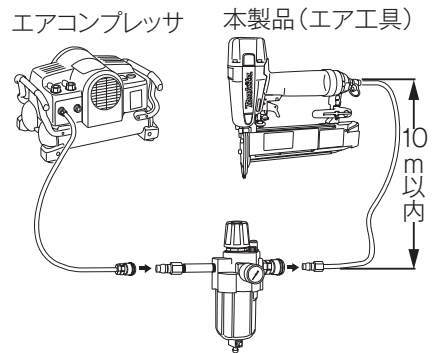
- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
※内径 6.5 ミリ以上、長さ 30 メートル以下のエアホースを使用することを目安に選定してください。

注

- ・ 釘の発射頻度に比べコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

エアセット（別販売品）について

- ・ エアセットをご使用いただきますと、本製品の作動性と防錆性を長期間最適な状態に保つことができます。
- ・ ご使用の際は、エアセットから本製品までのエアホースの長さをおおよそ 10 m 以内としてください。
オイルの油の滴下の量は 50 回打ち込むごとに 1 滴（約 0.02 mL）の割合で調整してください。



- ・ エアセットのオイルを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回発射してください。油が本製品全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。

コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本製品の能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアセットのオイル内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、Oリングの早期摩耗の原因となります。
- ・ エアホースは熱（60℃以上）、薬品（シンナー、強酸、強アルカリなど）および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

使い方

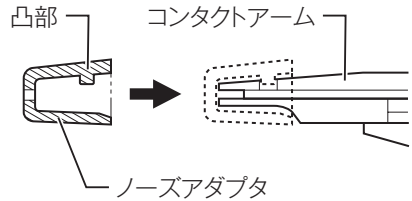
ノーズアダプタについて

⚠ 警告

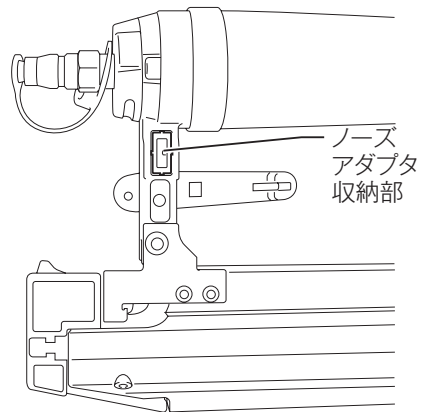
作業に入る前にトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 打ち込む時、材料の表面へ傷が付くのを防ぎたい場合は、ノーズアダプタ内側の凸部をコンタクトアームの穴に合わせて被せて使用してください。



- ・ 使用しない時は、ノーズアダプタを収納部に入れておいてください。なお、収納部はプラスチックケース内にもあります。



釘の装てんについて

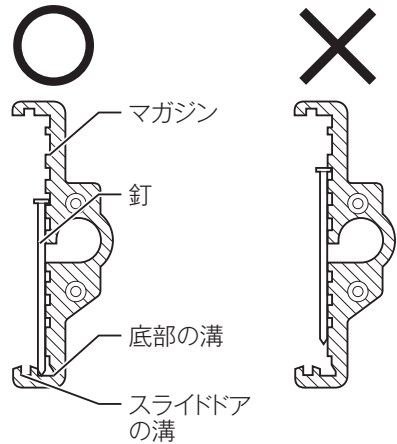
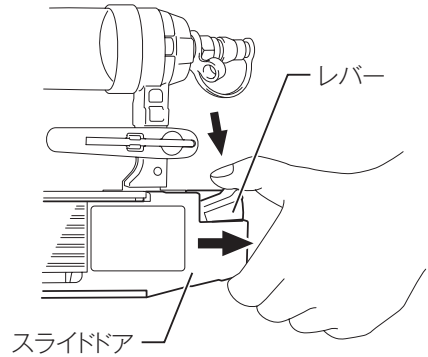
⚠ 警告

釘を装てんする場合は必ずトリガをロックし本製品からエアホースをはずしてください。

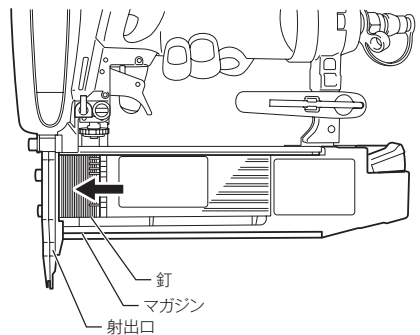
- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

使い方

1. 作業を始める前にトリガをロックし、エアホースをはずしてください。レバーを押しながらマガジンのスライドドアを手前に引いて開いてください。



2. 釘の先端をマガジン底部の溝に確実ににはめ込むようにして装てんしてから、釘全体を指で射出口へ送り込みます。
3. スライドドアを確実に閉めてください。これで釘の装てんが終了しました。



注

- 指定以外の釘を使用しないでください。
- 釘や釘の連結が変形したものは使用しないでください。
- マガジン内に異なるサイズ（足長さ）の釘を同時に装てんしないでください。
 - ・ 釘づまり故障の原因になります。

使い方

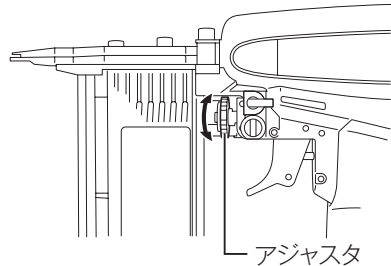
釘の打ち込み深さの調整について

⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

- ・ 打ち込み深さ調整をするときは必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてあることを確認してください。
- ・ 打ち込み深さ調整アジャスタを指で回して調整します。
- ・ 調整目盛が「2.5」のとき打ち込み深さが一番深くなり、数字が小さくなるにしたがって浅くなります。一目盛で約 0.5 mm の調整が行えます。



注

- ・ 調整目盛が「0」の状態でも打ち込みすぎるときは、空気圧力を低い方に、また調整目盛が「2.5」の状態でも打ち込み深さが不足するときは、空気圧力を高い方に調整してください。一般に空気圧力を低くし、調整目盛を「2.5」に近い方で使用した方が、本製品は長持ちします。

エアホースの接続

- ・ トリガをロックし、本製品のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。

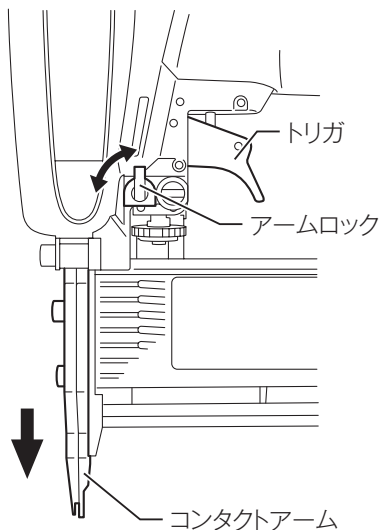
使い方

打ち込み方法について

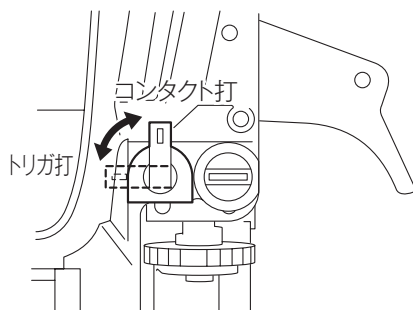
- ・ 切り替えレバーをフリーにしてください。
- ・ 本製品はコンタクトアーム先端を材料に押しつけてからトリガを引かないと釘を打ち込めない「コンタクト打」と、トリガを引くだけで釘を打ち込む「トリガ打」の切り替えが行えます。

「コンタクト打」の場合

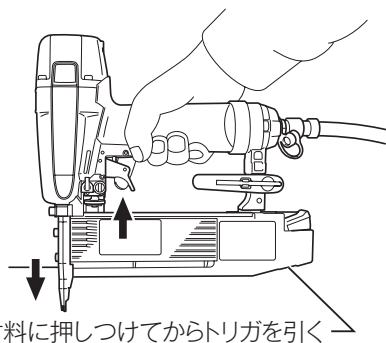
1. コンタクトアームの先端を、材料に押し付けてください。



2. アームロックを「コンタクト打」の位置に合わせてください。



3. コンタクトアーム先端を、材料に押しつけてトリガを引いてください。
 4. 続けて打つ場合は、トリガを戻してから同じ動作を繰り返してください。
- ・ トリガを引いてから、コンタクトアームを材料に押しつけても釘は打ち込まれません。



使い方

「トリガ打」の場合

⚠ 警告

本製品先端を滑らせて連続打ちするとき以外は「トリガ打」にしないでください。

- ・ 「トリガ打」はトリガを引くだけで作動するので、誤って発射した場合に事故の原因になります。

マガジンのスライドドアを開くと空打ち防止機構が解除されますので、スライドドアを開くときは必ずトリガをロックしてください。

- ・ 誤って空打ちした場合に事故の原因になります。

1. 本製品先端を打込み位置で材料に押し付け、アームロックを「トリガ打」の位置に合わせてください。
2. トリガを引いて打ち込んだ後、本製品先端を滑らせて次の打込み位置まで移動し打ち込みます。
3. 作業が終わりましたら、本製品先端を材料に押し付けた状態でアームロックを「コンタクト打」の位置に戻してください。

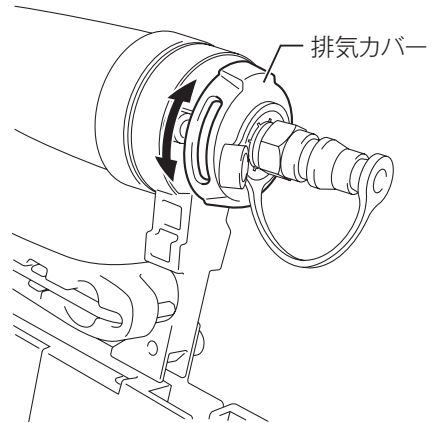
注

- ・ マガジン内の釘が無くなると空打ち防止機構が作動して、トリガが引けなくなります。

使い方

排気方向について

- ・ 排気方向は排気カバーを手で回すことにより、360度回転できます。



釘づまりの直し方

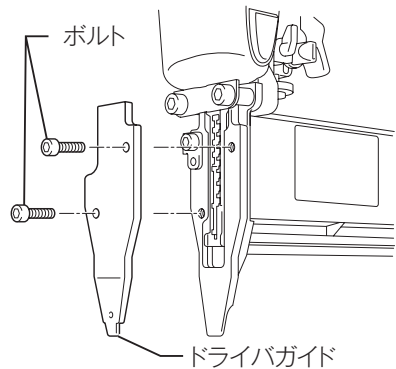
⚠ 警告

作業に入る前にトリガをロックし、本製品からエアホースはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

1. 作業に入る前にトリガをロックしエアホースをはずしてあることを確認してください。

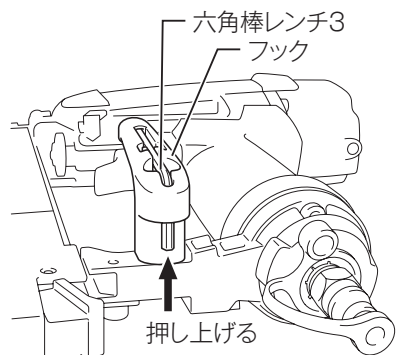
マガジンのスライドドアを開き、マガジン内の釘を取り出してください。



2. ドライバガイドを締め付けている2本のボルトを六角棒レンチ3ではずし、取りはずしてください。

- ・ 六角棒レンチ3は短い方の先端を押し上げて、フックからはずしてください。

3. 釘の案内溝が露出するので、つまった釘を取り除いてください。



使い方

フックについて

⚠ 警告

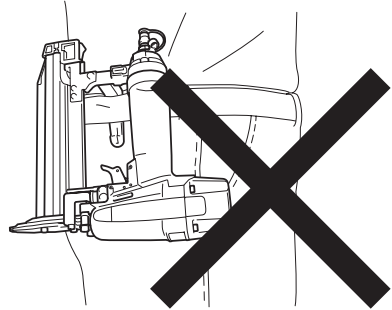
フックを使用する場合は必ずトリガをロックし、本製品からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本製品が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにはけないでください。

- ・ フックがはずれて本製品が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。

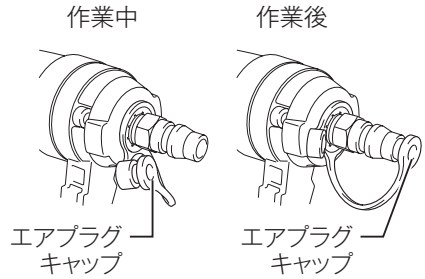
- ・ フックを利用すれば本製品を一時引っかけおくのに便利です。本製品に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。



保守・点検について

作業後の保管

- ・ 本製品内にゴミやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときにはトリガをロックし、エアホースをはずしエアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 長時間使用しないときは防錆のため摺動部にマシン油などを塗布し、プラスチックケースに収納してください。
- ・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉じんの多い所は避けて保管してください。



純正オイルの使用

- ・ オイルは純正のオイルを必ず使用してください。作業終了後、これを行うことにより最良の状態を保つことができます。空気取り入れ口より付属のタービン油を数滴注油してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882063B6
IWT

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)